

Matsumoto Medical Center



独立行政法人国立病院機構

まつもと医療センター

Hospital Guide 2026

CONTENTS

理念・基本方針・患者さんの権利	03
病院長ごあいさつ	04
病院概要・沿革	05
病院の特色	
救急医療	06
HCU	07
地域包括ケア病棟・在宅療養後方支援病院	08
障がい者医療	09
各診療科・医師紹介	
消化器内科	10
血液内科	11
呼吸器内科・脳神経内科	12
循環器内科	13
腎臓内科・糖尿病内分泌内科	14
小児科	15
外科	16
救急科・脳神経外科	17
整形外科	18
呼吸器外科・泌尿器科	19
皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科	20
放射線科・麻酔科	21
病理診断科・人間ドック科	22
総合診療科・専攻医・研修医	23
看護部	
看護部の理念・能力開発(研修)体系図	24
診療看護師の紹介・認定看護師の紹介	25
各部署紹介	26
各部門のご案内	
臨床研究部・薬剤部	28
診療放射線科	29
臨床検査科	30
リハビリテーション科	31
栄養管理科	32
療育指導室・危機管理センター	33
医療用電子機器管理室	34
病児保育室・院内保育所	35
外来診療表	36
地域医療支援病院・包括医療支援センター	38
患者紹介・予約手続き	39
フロア案内	40
配置図	41

理念

いのちの尊さを重んじ、 質の高いやさしい医療を提供します

※「やさしい医療」とは、思いやりのある、安心して受けられる医療ということ

基本方針

1. 医学的根拠に基づいた医療を安全に提供します
2. 適正かつ十分な説明を行い、理解と同意を得た医療を提供します
3. 患者さんの思いを大切にし、敬意と思いやりの心で接します
4. 地域の医療機関と連携し、地域医療の向上に努めます
5. 教育研修の充実を図り、職員の能力向上と人材育成に努めます
6. 常に前進・研鑽し、臨床研究を通じて医療水準の向上に努めます
7. 明るく健全な病院運営を行います
8. 職員ひとりひとりが誇りを持ち、働きがいのある病院をめざします

患者さんの権利

わたしたちは以下の患者さんの権利を守り 最善の医療を提供するように努めます

1. 良質かつ適正な医療を平等に受ける権利
2. 自己の病状や予後、治療の手順とその危険性および有益性、代替手段についての十分な情報提供を受ける権利
3. 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
4. 意思に反する場合、情報を知らされない権利
5. 検査の諾否や治療法の選択について、自らが決定する権利
6. いつでも自己の決定を取り消すことが出来る権利
7. 個人の医療情報に関するプライバシーが守られる権利
8. 健康教育を受ける権利
9. 人格や価値観が尊重され、尊厳を保って生を全うする権利
10. 小児患者さんの生きる権利、守られる権利、育つ権利、参加する権利



まつもと医療センターのロゴマーク
(Matsumoto Medical Center)

病院概要

今後も「治す医療から支える医療まで」をモットーに、地域の皆さまに安心・安全な医療を提供する様、職員一同努力してまいりますので、引き続きご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



沿革

まつもと医療センター
2008年 2病院が組織統合し、それぞれ「まつもと医療センター松本病院」「まつもと医療センター中信松本病院」として発足
2017年 新病棟完成
2018年 一体地化



まつもと医療センターは、
「治す医療から支える医療まで」
急性期・慢性期医療の両方に対応している
ケアミックス病院です。

病院の特色

救急医療

毎日管理当直医と小児科医、内科もしくは外科医の3名が院内に待機し、さらに各診療科医師がバックアップする体制をとっています。（二次輪番日は4名＋研修医で対応）

平日

昼間の救急搬送 / 救急専門医（松下明正救急科医長）
救急搬送以外の急病対応 / 総合診療科や該当する各診療科

TEL 0263-58-4567

他病院や診療所からの
受け入れ要請やお問い合わせ

TEL 0263-86-2812

夜間休日

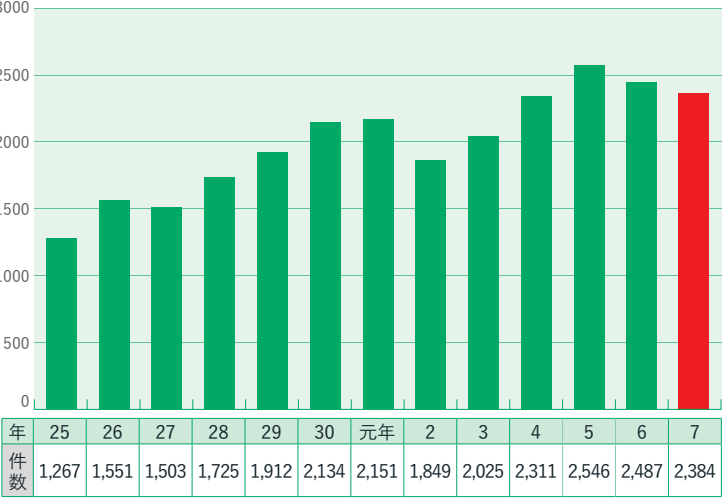
曜日	小児科	内科	外科系
月			
火	まつもと医療センター		
水			
木	まつもと医療センター	まつもと医療センター	まつもと医療センター
金			
土	第1		
	第2	まつもと医療センター	まつもと医療センター
	第3		
	第4		
	第5	まつもと医療センター	
日	第1	まつもと医療センター	まつもと医療センター
	第2	まつもと医療センター	
	第3	まつもと医療センター	まつもと医療センター
	第4	まつもと医療センター	
	第5	まつもと医療センター	まつもと医療センター

当院の松本広域救急二次輪番の担当は
左記の通りで、内科外科救急日は内科医師、
外科医師で対応し、小児科救急日は
小児科医師が対応しています。



夜間休日のお問い合わせ TEL 0263-58-4567

救急搬送数の推移（平成25年～令和7年）



HCU

緊急入院、一般病棟で急変した患者の入室の受け入れを行っています。予定手術（全身麻酔）患者さんに対しては、術前・術後訪問を実施し、安心して手術と術後管理を受けていただけるようにしています。令和3年度より早期離床リハビリテーションプログラムを導入し、術後患者の早期離床を目標にリハビリテーション科と協働し実施しています。

患者の動向（令和7年度）

1) 平均在院患者数	6.2名	2) 平均在院日数	3.1日
3) 平均病床利用率	77.5%	4) 病床稼働率	108.8%

HCU 入室の主科とその疾患・状態等

(1) 外科	胃癌術後、大腸癌術後、直腸癌術後、胆道癌術後、肝癌術後、膵癌術後、食道癌術後、腹膜炎術前後、イレウス術前後、その他緊急開腹術前後
(2) 呼吸器外科	肺癌術後、膿胸術後、縦隔腫瘍術後、気胸術後
(3) 整形外科	大腿骨頸部骨折術後
(4) 循環器内科	重症心不全、難治性不整脈
(5) 救急科	意識障害または昏睡、その他の急性薬物中毒ショック、急性循環不全、救急蘇生後、重症熱傷、DIC、敗血症、重度の酸塩基平衡異常、代謝異常
(6) 呼吸器内科	慢性呼吸不全、急性呼吸不全
(7) 消化器内科	急性膵炎、急性胆管炎、下血・吐血を伴う消化器疾患



地域包括ケア病棟について

2018年8月から地域包括ケア病棟50床を運営しています。

対象患者さん

- 在宅での療養に不安があり、リハビリテーションや介護の練習、ケアプランの調整が必要な患者さん
- 在宅で療養しており、レスパイト入院を希望する患者さん
- その他(白内障などの短期手術)

原則として在宅(自宅や生活施設)への退院を予定している方が対象となります。
入院期間は原則40日以内です。
在宅療養をされている患者さんで利用希望される方がいらっしゃいましたらご紹介をお願いします。

在宅療養後方支援病院について

在宅療養中の患者さんと訪問診療を担当されている診療所の先生方と入院を受け入れる病院の三者が、あらかじめ文書を交わして連携することにより、当該患者さんが急変して入院治療が必要になったときのすみやかな入院を保障する仕組みです。

在宅療養支援診療所が下記の算定を入院の月またはその前月におこなっている患者さんが対象です。

在宅時医学総合管理料・特定施設入居時等医学総合管理料・在宅がん医療総合診療料、自己注射をのぞく在宅療養指導管理料

申し込みをいただいた患者さんにご家族の状況につきまして、あらかじめ、外来診察、または数日の検査入院をさせていただきます。

利用ご希望の患者さんがあれば、包括医療支援センター(地域医療連携室)までご連絡ください。



障がい者医療について



まつもと医療センターの
「支える」医療

まつもと医療センターでは、重度の障がいのある方たちの毎日を「支える」医療をおこなっています。

診療

重度の障がいがあり医療依存度の高い患者さんたちの日常診療および急性期の対応をおこなっています。
人工呼吸器管理、透析、難病や重症心身障がいの診療などに豊富な経験と実績があります。

重症心身障がい児者病棟

1972年に当院に設置された重症心身障がい児者病棟は、県内外の重度の障がいを持つ児者の治療と生活の場として、地域のみなさんを支えてきました。
障がいはあっても毎日が安定した楽しい日々になるように、適切な治療、医療的ケア、介護を提供しています。
※重症心身障がい児者病棟については「療育指導室」にご連絡ください。

療養介護事業「ひだまり」

ALSを始めとする神経難病などで気管切開して人工呼吸器を装着している方や筋ジストロフィーで障害区分認定5-6の方を対象とした生活施設です。医療依存度が高いために、介護施設や障がい者の施設の利用が難しくなった方たちが、安心して生活できるように、適切な治療、医療的ケア、介護を提供しています。
※「ひだまり」については「患者支援室 ソーシャルワーカー」にご連絡ください。

福祉サービス

●短期入所 ●「すてっぷ」(放課後デイサービス・児童発達支援・生活介護)

在宅で生活している方たちを支える福祉サービスをおこなっています。いずれも医療依存度が高く、医療的ケアを受けながらのサービス利用が必要な方たちに多く利用していただいています。
※福祉サービスについては「療育指導室」にご連絡ください。

各部署紹介

西棟



県内で2か所しかない結核病床

西5病棟(呼吸器内科 結核ユニット)

部署の特徴

- 肺や気管などの呼吸器に疾患のある患者さんが入院している病棟です。
- 長野県に2か所しかない結核患者さんが入院治療する病棟です。
- 化学療法・放射線治療・酸素吸入・人工呼吸器・胸腔ドレナージ・在宅酸素導入を行っています。

アピールポイント

- 長期入院の患者さんの、精神的不安やストレスを軽減できるよう努めています。
- 化学療法などによる苦痛を最小限にできるよう、患者さんに寄り添った看護を心がけています！



化学療法など専門的な治療を行っています

西4病棟(血液内科)

部署の特徴

- 白血病や悪性リンパ腫・多発性骨髄腫などの造血器腫瘍、再生不良性貧血などの血液疾患の患者さんが入院しています。
- 化学療法中心に、骨髄移植など、専門性の高い集学的治療を行っています。
- 免疫力が低い方のために無菌室が20床あります。
- 抗がん剤の副作用マネジメントや感染予防に力を入れています。

アピールポイント

- 安心で安全な看護を提供するために、スタッフ同士でコミュニケーションを図って日々頑張っています。
- 治療が安心して受けられるよう、患者さんに寄り添った看護をこころがけています。



子どもにも優しい環境づくり

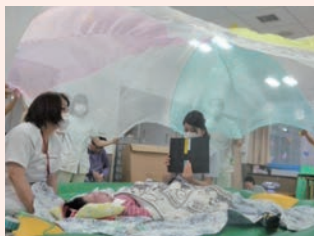
西3病棟(小児科・泌尿器科・糖尿病内科・耳鼻咽喉科・眼科・他)

部署の特徴

- 小児から高齢者まで幅広い年齢の方が入院しています。
- 小児疾患、泌尿器科の手術、糖尿病治療の他、消化器内視鏡治療などを行っています。
- ご高齢の患者さんは、多職種と連携しながら日常ケアを行い、活動の時間を取り入れています。
- また、安心して自宅へ帰れるよう、退院を見据えた支援を積極的に行っています。

アピールポイント

- プレイルームやキャラクターをあしらった処置室など、子供にやさしい環境づくりをしています。



療育活動の様子

西2病棟(重症心身障がい児・者病棟)

部署の特徴

- 重症心身障がい児・者とは、肢体不自由と知的障害とが重複した状態の方々のことを言います。
- 西2病棟では、言葉でのコミュニケーションが困難な方々が生活されています。そのため、言葉による会話を超え、表情や動作・目の動きなど、患者様の力を最大限に生かした様々な方法でコミュニケーションを図っています。

アピールポイント

- 患者さんが安心して生活できるようスタッフ一同、力を合わせてケアしています！



季節に合わせた行事を行っています

西1病棟(重症心身障がい児・者病棟)

部署の特徴

- 患者さんは長期の入院生活を送っている方がほとんどです。
- 患者さんの生活の場として、日常生活援助を中心に看護師と療養介助員が協力してケアを行っています。

アピールポイント

- 言葉によるコミュニケーションをとることが難しい患者さんが多く、表情や動きなどから思いをくみ取り、日々のケアにつなげています。患者さんの状態をよりよい方向に導くことができるよう、リハビリや医師などと相談し、日々多職種で協力しています。



手術室の様子

手術室

部署の特徴

- 手術室は、11診療科の手術に対応しています。
- 内視鏡室は、検査、内視鏡手術(ポリープ切除・悪性腫瘍粘膜下剥離術など)に対応しています。
- 手術や内視鏡での不安を少しでも軽減できるよう、ていねいな関わり(看護)を心がけています。

アピールポイント

- 手術前や手術後の患者さんへの訪問で、お話を伺い、患者さんに寄り添った看護を行っています。
- 周術期管理チームにより、手術後の疼痛管理を行っています。

東棟



文字盤を使ってのコミュニケーション

東6病棟(脳神経内科・療養介護事業所「ひだまり」)

部署の特徴

- 主な疾患は、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、パーキンソン病、多系統萎縮症、てんかん、筋ジストロフィーなどです。
- 療養介護事業所「ひだまり」が30床あり、人工呼吸器を使用する方の安全を守り、福祉サービスを提供し、より豊かな療養生活を送っていただくためにも季節毎のレクリエーションを行っています。

アピールポイント

- 言葉でのコミュニケーション以外の様々な方法で患者さんと意思疎通をはかり、その人らしく過ごせる時間を大切にしたいと考えています。
- 医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカーがワンチームとなり、身体機能維持のサポートをします。



心電図の確認

東5病棟(循環器内科 整形外科 呼吸器外科 腎臓内科 皮膚科)

部署の特徴

- 整形外科・呼吸器外科では主に手術を目的とする患者さん、循環器内科・腎臓内科・皮膚科では、検査や治療を目的の患者さんが入院しています。
- すべての患者さんが安心して治療を受け、入院生活を送れるようお手伝いしています。

アピールポイント

- 患者さん一人一人に寄り添った看護の提供を心がけています。



外科回診で医師との協働

東4病棟 (消化器内科 外科 脳神経外科)

部署の特徴

- 手術前後の周術期看護や化学療法、内視鏡治療、薬物療法など、多岐に渡る医療を提供しています。
- 急性期ならではのスピード感の中にも、患者さん一人ひとりに寄り添う看護を大切にしています。
- また、医師やリハビリスタッフなど多職種と連携しながら、退院後の生活を見据えた支援を行っています。
- 「ここで治療をしてくかった」と思っていただけよう、丁寧な看護を心がけています。

アピールポイント

- チームワークを大切にしながら、忙しい中でも協力して楽しく働いています。



患者さんのリハビリにも付き添います

東3病棟(地域包括ケア病棟)

部署の特徴

- 地域包括ケア病棟とは、手術や急性期の治療が終了し、病状が安定した患者さんを対象に、在宅や介護施設などへの復帰に向けた医療や支援を行う病棟です。
- また、短期滞在手術やレスパイト(休息入院)入院も受け入れています。

アピールポイント

- 懇切丁寧に、患者様の個別に合ったやさしい看護の提供に努めています。



容態の変化にも素早く対応します

HCU(高度治療室)

部署の特徴

- 手術後や急性期の重症患者さんを対象に、24時間体制で濃密な治療と看護を行う部署です。
- 一般病棟よりも手厚い看護配置を整え、容態の変化に素早く対応できる体制を構築しています。
- 重症な病態であっても合併症を防ぎ、早期からのリハビリテーションに力を入れています。
- 緊迫感のある環境ではありますが、安全を第一に考え、あたたかみのある療養環境づくりを目指しています。

アピールポイント

- 一日も早い回復を、一番近くで支えます。
- 「ここで治療できてよかった」と思ってもらえるよう、全力でサポートしています。



外来採血室

外来

部署の特徴

- 各科の診療に加え、透析室・通院治療室での治療を行っています。
- 患者さんが、スムーズに安心して治療が受けられるよう援助しています。

アピールポイント

- 一番身近な医療のパートナーとして、スタッフ一同親身になって対応いたします。



カンファレンスの様子

包括医療支援センター(入退院支援センター)

部署の特徴

- 患者さんがスムーズに入院生活を送り、安心して自宅に帰れるようお手伝いをする部署です。
- また、看護師やソーシャルワーカー・事務と連携し、生活やお金の困りごと相談の他、地域の病院・施設等への紹介・転院調整などを行っています。

アピールポイント

- 入院支援看護師が、入院前に患者さんやご家族と面談し、入院生活について説明します。また、退院後の生活についてのご相談も幅広く行っています。
- 入院中の患者さんを対象に、退院支援看護師・病棟看護師と協働して、患者さん、ご家族のお話を伺い、安心して自宅に帰れるように支援します。

地域医療支援病院について

地域の病院や診療所などと連携して、質の高い医療をより効率的に提供する役割を担っています。
当院は2009年に長野県から承認を受けました。

包括医療支援センターについて

地域のみなさまの医療と暮らしを連携・相談の力で支えます。

包括医療支援センターは、地域医療連携室・患者支援室・入退院支援室が協働して、医療と暮らしを包括的に支援することを目的にしています。
医師、看護師、ソーシャルワーカー、事務の多職種スタッフが地域の先生方、みなさまをサポートします。

包括医療支援センター

地域医療連携室

- ・紹介受付
- ・診療所訪問
- ・登録医に関すること
- ・医療機器共同利用受付
- ・病院や診療所との連携
- ・信州メディカルネット窓口

患者支援室

- ・医療福祉相談
 - ・患者サポート
- 生活のこと、介護のこと、経済的なこと、気持ちのこと、病気を抱えての毎日ともなう悩み事全般についてお受けしています。

入退院支援室

- ・予定入院患者さんへの説明、支援
- ・多職種協働の退院支援

【紹介患者窓口】包括医療支援センター

平日（年末年始を除く）8:30~18:15

TEL 0263-86-2812（直通）

FAX 0263-86-2816（直通）

患者紹介・予約手続きについて

電話・FAXによりご紹介を受け付けております。

【紹介患者窓口】 包括医療支援センター

平日（年末年始を除く）8:30~18:15

TEL 0263-86-2812（直通）

FAX 0263-86-2816（直通）

受診紹介 （外来・入院）

当日の受診、入院など緊急性の高い場合はお電話でご連絡いただくようお願いいたします。
なお、当院では以下の専門外来をおこなっています。
外来診療表をご参考に紹介をご検討ください。
【HIV 外来／ペースメーカー外来／睡眠時無呼吸外来／ヘリコパクター・ピロリ除菌難治例外来／脂肪肝外来／もの忘れ外来／てんかん外来／ストーマ外来／ヘルニア外来／下肢関節外来】

医療機器 共同利用受付

当院診療の扱いになります。
【上部消化管内視鏡／下部消化管内視鏡／MRI（造影有含む）／CT（造影有含む）／RI（シンチグラフィ）／精密骨密度測定】
従来の電話予約に加えて、医療機器共同利用（CT、MRI、RI（骨シンチ）、骨密度測定）に関して、紹介元である医療機関様向けにWeb予約システム（メディグル予約）を導入しました。24時間365日Webから予約可能です。

令和7年度 医療機器共同利用実績	
CT	376件
MRI	606件
RI	134件
骨密度	11件
内視鏡（胃カメラ）	425件
内視鏡（大腸カメラ）	473件

転院調整

地域の医療機関との間で転院の調整を行っています。
お電話にてご相談ください。

セカンド オピニオン 受付

担当者がお話を伺い手続き方法をご案内します。
お電話にてご相談ください。
現在かかられている医師からの紹介状、検査資料をご用意ください。

人間ドック

人間ドック／生活習慣病予防検診／特定健診



休日・平日時間外（8:30~18:15以外）について

TEL 0263-58-4567（代表）にお電話ください。

フロア案内

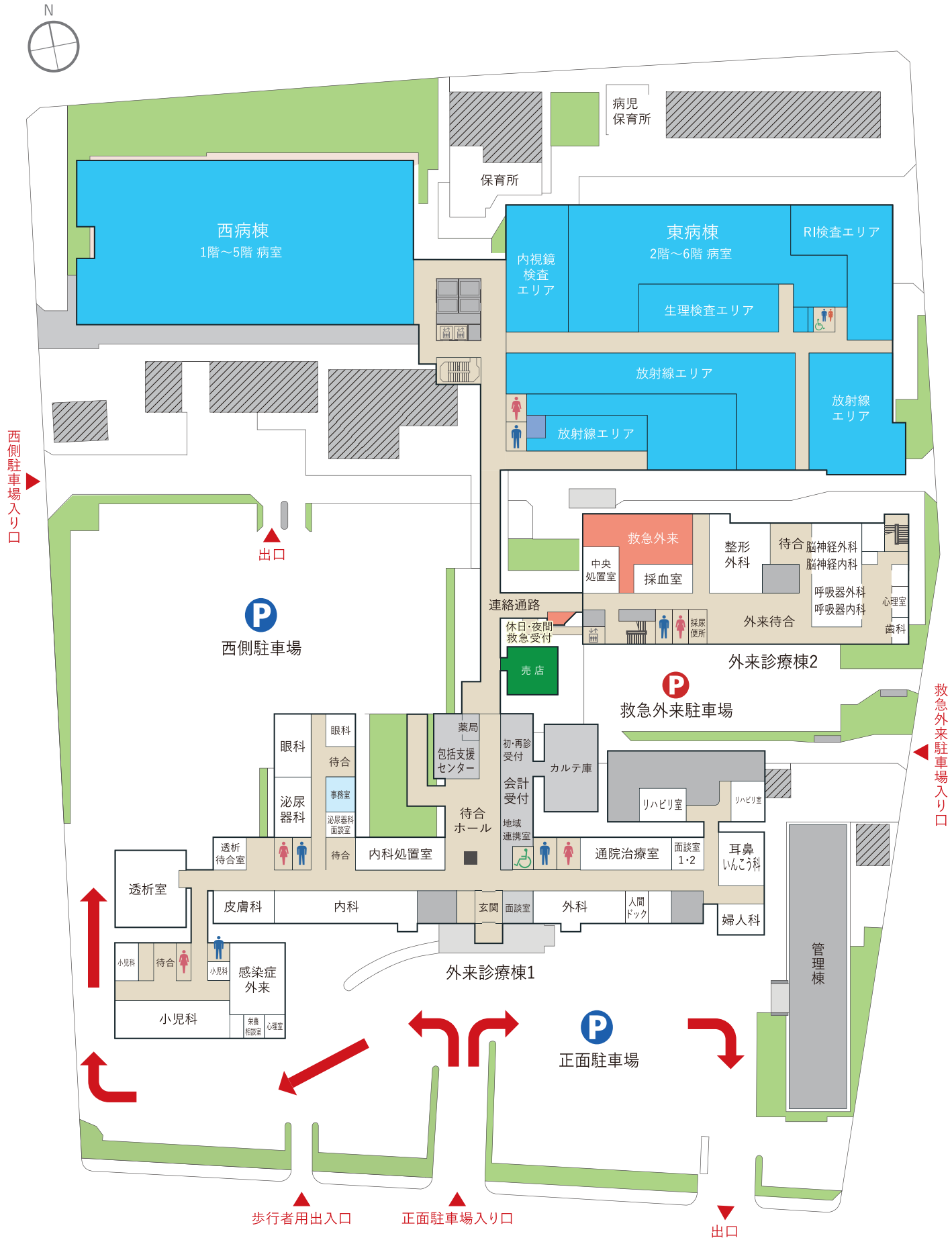
各階のご案内(主な診療科)	
西5	呼吸器内科(結核ユニット)／病棟(521-543)
西4	血液内科(無菌病棟)／病棟(421-440)
西3	小児科／泌尿器科／耳鼻いんこう科／眼科／糖尿病・内分泌内科／病棟(321-343)
西2	重症心身障がい児(者)／病棟(221-236)
西1	重症心身障がい児(者)／病棟(121-136)
	リハビリテーション／すてっぷ／院内学級
6F	東6 脳神経内科(ひだまり)／病棟(601-617)
5F	東5 循環器内科／整形外科／呼吸器外科／糖尿病・腎臓内科／皮膚科／病棟(501-520)
4F	東4 外科／脳神経外科／消化器内科／肝臓内科／病棟(401-417)
3F	東3 地域包括ケア病棟／病棟(301-320)
2F	東2 手術室・HCU(8床)
1F	東1 放射線／検査／内視鏡
B1F	栄養等サービス部門／霊安室・解剖室

西病棟	東病棟
薬剤部	医局
外来診療エリア／透析室／包括医療センター／受付・会計	外来診療エリア／救急外来
外来診察棟1	外来診察棟2

バリアフリー情報

分類	項目	設置の有無	説明
駐車場	駐車場	○	駐車場がある
	車いすマーク 駐車場	○	障がい者等が利用できる駐車区画がある
敷地内通路 (建物前)	平坦	○	建物の主な外部出入口前が平坦
	スロープ	○	建物の主な外部出入口前などにスロープがある
主な外部出入口	自動ドア	○	建物の主な外部出入口が自動ドアである
トイレ	洋式トイレ	○	洋式トイレがある
	おむつ交換台	○	乳幼児のおむつ交換ができる台がある
	車いす使用者利用トイレ	○	障がい者対応トイレ(車いすで利用できるトイレ)がある
	オストメイト対応トイレ	○	オストメイト対応トイレがある
誘導案内	視覚障害者誘導用ブロック	○	敷地内通路や建物内部に視覚障がい者誘導用ブロックがある
昇降設備	エレベーター	○	一般用のエレベーターがある
	車いす対応エレベーター	○	車いす使用者対応エレベーターがある
	点字・音声付エレベーター	○	点字表示又は音声案内付エレベーターがある
その他	車いす貸出し	○	貸出し用車いすがある
	授乳室	○	授乳室がある
	AED	○	AED(自動体外式除細動器)を設置している

まつもと医療センター配置図



アクセスマップ

Access Map



交通手段

JR	▶ JR篠ノ井線 村井駅より徒歩10分(約700m)
バス	▶ 松本市コミュニティバス村井・山形線「まつもと医療センター」下車徒歩0分 ▶ 塩尻市AI活用型オンデマンドバス「のーと塩尻」利用「まつもと医療センター」下車徒歩0分 ▶ アルピコ交通寿台線「まつもと医療センター前」下車徒歩1分
自家用車	▶ 長野自動車道塩尻北インターより車で5分 ▶ 信州まつもと空港より車で15分

独立行政法人国立病院機構 まつもと医療センター

〒399-8701 長野県松本市村井町南2丁目20番30号

TEL 0263-58-4567

FAX 0263-86-3183

包括医療支援センター 地域医療連携室・相談支援センター

TEL 0263-86-2812

FAX 0263-86-2816